



| | |
|--------------|---|
| Title | 2020年度活動記録 |
| Author(s) | |
| Citation | 大阪大学歴史教育研究会 成果報告書シリーズ. 2021, 18, p. 61-63 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/91436 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2020 年度活動記録

■大阪大学歴史教育研究会・2020 年度例会

＊所属・職名は報告当時のものである。

＊オンライン開催は、全て ZOOM を使用して行った。

第 127 回例会（2020 年 5 月 16 日オンライン開催）

桃木至朗（大阪大学文学研究科教授）

「「知の OS」のアップデートと新しい歴史教育―世界史大幅縮小の瀬戸際で―」

大橋康一（滋賀県立守山高等学校教諭）

「汎用性のある「歴史総合」年間計画」

第 128 回例会（2020 年 6 月 20 日オンライン開催）

北村厚（神戸学院大学人文学部准教授）

「世界史 A ジグソー教材開発の模索―高大連携の実践を通じて―」

大西信行（中央大学文学部特任教授）

「歴史教員としての《中間決算書》」

第 129 回例会（2020 年 7 月 18 日オンライン開催）

加藤茂孝（保健科学研究所・元 CDC 客員研究員）

「コロナウイルスはどこから来たのか？そしてどう対応すべきか？」

戸部健（静岡大学人文社会科学部教授）

「近代中国における感染症の流行と中医」

第 130 回例会（2020 年 10 月 17 日オンライン開催）

川島啓一（同志社中学校・高等学校教諭）

「高校生が歴史論争を探究するとき、高校教員はどこに困難さを抱えるか―歴史学研究成果を援用する―」

赤澤明（元堺市博物館副理事）

「博学連携―堺市博物館の挑戦―」

特別例会（2020 年 11 月 15 日オンライン開催）

2020 年度中学生・高校生歴史研究発表会

（運営協力「日本と世界が会えるまち・堺 2020」プロジェクト研究会）

第 131 回例会（2020 年 12 月 19 日オンライン開催）

脇村孝平（大阪経済法科大学経済学部教授）

「『感染症の歴史学』再考—編著『人口と健康の世界史』を振り返って—」

大学院生グループ報告「病の歴史」

伊藤光葉（西洋史 M2）・菊池康貴（日本史 D1）・北山航（日本史 M1）・野口駿之介
（西洋史 M1）・平野裕大（日本史 M1）

「近代医療から見る、病における社会的弱者—コロナパンデミックと関連して—」

第 132 回例会（2021 年 1 月 16 日オンライン開催）

鶴島博和（熊本大学名誉教授）

「中世ヨーロッパにおける多様な海の世界—北ヨーロッパ海域の形成—」

井上浩一（大阪市立大学名誉教授）

「ビザンツ史を学ぶ意味」

第 133 回例会（2021 年 3 月 13 日オンライン開催）

小林傳司（大阪大学名誉教授、科学技術振興機構社会技術研究開発センター上席フェロー、
大阪大学 CO デザインセンター特任教授）

桃木至朗（大阪大学文学研究科教授）

「抽象論と個別事情の迷路から抜け出す方法—「言葉と学知の OS」から考える新しい
歴史教育—」

■教員組織・学会・自治体と連携した活動

「日本と世界が出会うまち・堺 2020」プロジェクト

堺市博物館と大阪大学歴史教育研究会の共催事業として、堺の国際交流の歴史などにスポットをあてた「日本と世界が出会うまち・堺 2020」プロジェクトは、今年度は新型コロナウイルス感染症問題のため中止となった。それに代替するものとして、2020 年 11 月 15 日に前述の特別例会をオンラインで開催した。

高大連携歴史教育研究会・第 6 回大会

高大連携歴史教育研究会の第 6 回大会は、大阪大学を主管校として 2020 年 7 月 25 日～26 日にオンライン開催された。事務局 OB の伊藤一馬は 25 日の全体会「〈阪大史学の挑戦〉一次史料からみる最新の研究成果」のコーディネーターと報告者を務め、世話役の八木啓俊がコメントを行った。26 日には桃木至朗がパネル①で報告を行い、世話役の矢景裕子がパネル④のコーディネーターを務め、矢部正明が同パネルで報告を行った。両日で事務局員の猪原達生と森井一真がスタッフとして準備やサポートを行った。

大阪大学歴史教育研究会 2020 年度世話役・事務局

■代表

桃木至朗（大阪大学大学院文学研究科教授）

■大阪大学側世話役

秋田茂（大阪大学大学院文学研究科教授）

飯塚一幸（大阪大学大学院文学研究科教授）

堤一昭（大阪大学大学院文学研究科教授）

■高校・中学教員側世話役

大西信行（中央大学杉並高等学校教諭）

置村公男（六甲中学校・高等学校教諭）

川島啓一（同志社高等学校教諭）

澤野理（神奈川県立逗子高等学校教諭）

西村嘉高（青山学院高等部教諭）

藤田弘晃（奈良県立奈良高等学校教諭）

矢景裕子（神戸大学附属中等教育学校教諭）

八木啓俊（大阪府立淀川清流高校教諭）

矢部正明（関西大学中等部・高等部教諭）

吉嶺茂樹（北海道立北海道有朋高等学校教諭）

■研究会事務局

猪原達生（大阪大学大学院文学研究科特任研究員／東洋史学）

岡田康佑（大阪大学大学院文学研究科博士後期課程／日本史学）

森井一真（大阪大学大学院文学研究科博士後期課程／西洋史学）